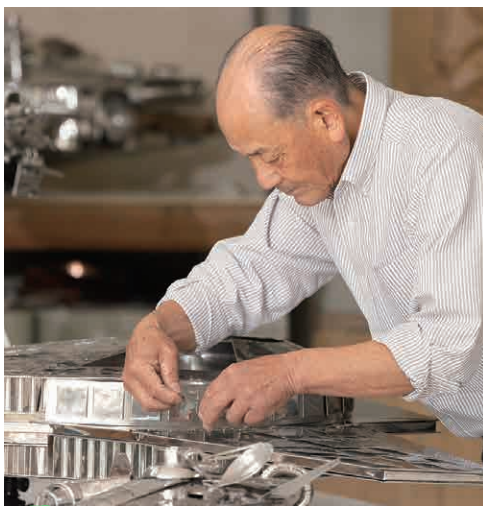




つくる、を日常に。



Living with ART.

2024 8.17 (土) - 8.25 (日)

日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真

会場

春日井市役所10、11、12階
文化フォーラム春日井

時間

午前9時～午後4時30分
※初日のみ午前10時開場／最終日は午後3時まで
※会期中休みなし

主催：春日井市、春日井市教育委員会

後援：中日新聞社

主管・問合せ：公益財団法人かすがい市民文化財団

TEL.0568-85-6868 www.kasugai-bunka.jp

春日井市民美術展覧会

第73回
市民展

目次

特別賞受賞作品

| | |
|----------------|----|
| 市長賞 | 2 |
| 財団理事長賞 | 5 |
| 教育委員会賞 | 8 |
| 市議会議長賞 | 11 |
| 観光コンベンション協会会長賞 | 14 |
| 委嘱特別賞 | 18 |

受賞者、入賞者・資格者一覧

| | |
|--------|----|
| 特別賞 | 20 |
| 奨励賞 | 22 |
| 高校生奨励賞 | 23 |
| 入選 | 23 |
| 無鑑査 | 27 |
| 委嘱 | 29 |
| 審査会員 | 30 |

| | |
|------|----|
| 審査講評 | 31 |
|------|----|

| | |
|-------------|----|
| 応募点数表・審査結果表 | 34 |
|-------------|----|

入賞者名簿カラー版 インターネット公開のご案内

本入賞者名簿のカラー版をインターネット上で公開します。

あわせてぜひご覧ください。

令和6年8月17日(土)から

※春日井市及び文化財団ホームページ上で公開



春日井市民美術展覧会 公式インスタグラムのご案内

ご自身の作品やお知り合いの作品を投稿し、

いいね！やコメントを送るなど是非ご活用ください。

フォロー及び「#春日井市民美術展覧会」をつけての

ご投稿もお待ちしております。



市長賞



◀ 日本画
「マヤ」
棚橋文代

▼ 洋画
「犬山まつり」
田邊陸男





▲ 書
「一枕鳥聲」
藤田香志



▲ 彫塑工芸
「網代蓋付き菓子器 宵星菊花」
鈴木善之



▲ 写真
「いざ舞台へ」
榎原 司

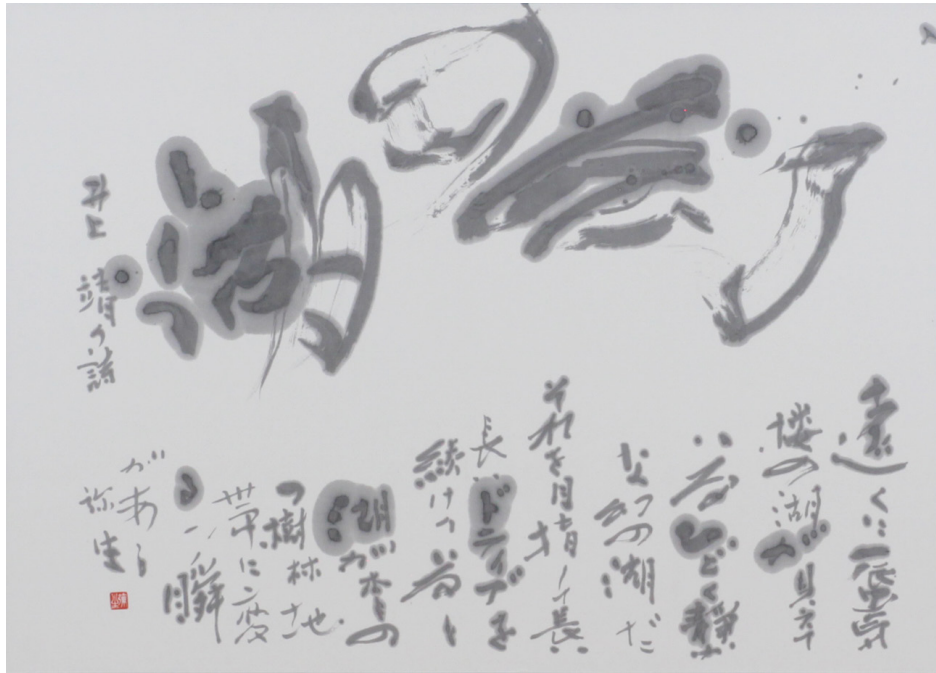
財団理事長賞



◀ 日本画
「ネクロポリス」
橋本 真知子



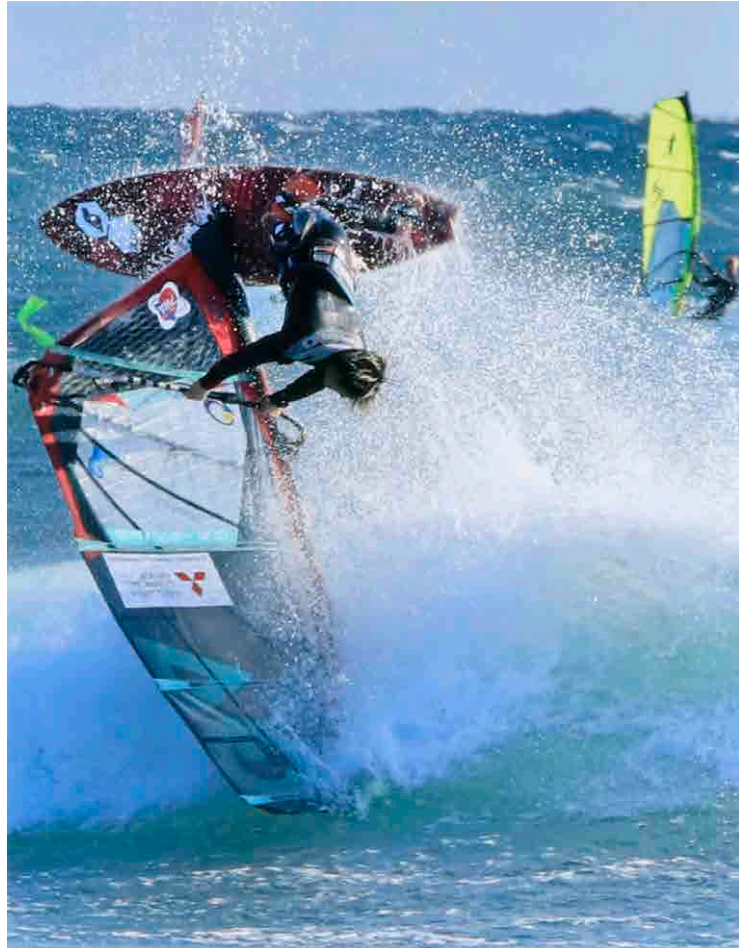
洋画 ▶
「街角のギターリスト」
早川 瑛子



▲ 書
「幻の湖」
古家野 弥 生



▲ 彫塑工芸
「シャトルII」
棚 橋 繁



▲ 写真
「妙技」
神戸敏文

教育委員会賞



▶ 日本画
「百獣之王」
田口五津子



◀ 洋画
「あの時のpromise」
棚瀬真理



▲ 書
「海の怪」
古川 智 貴



▲ 彫塑工芸
「バンブーオーケストラ」
町野 好 宥



▲ 写真
「夏夜の幻影」
中 村 春 喜

市議会議長賞

日本画
「芙蓉」
佐伯茂明

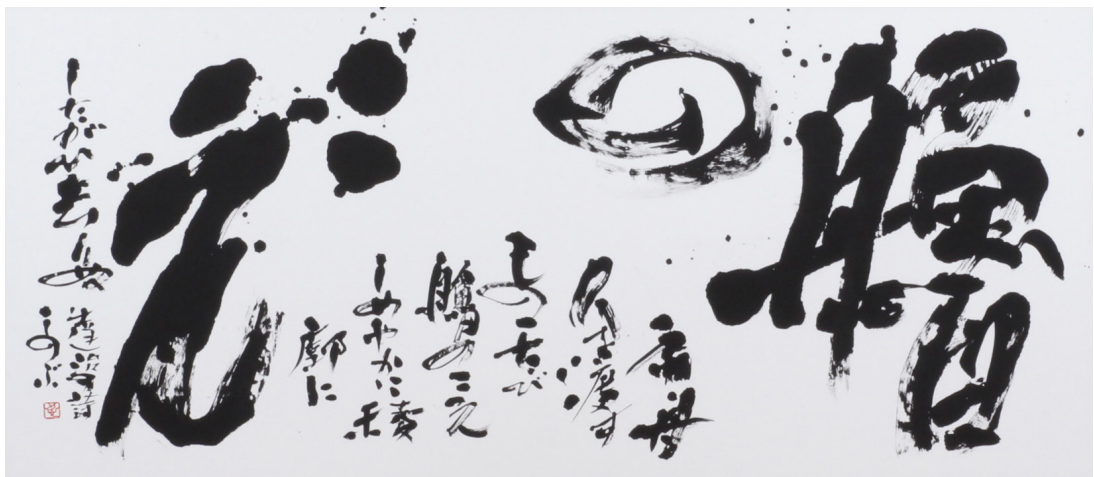


洋画
「仲良し 山羊仲間」
会津清子



◀ 書
「楊基詩」
大畑華雪

▼ 書
「水光微茫」
五藤しのぶ



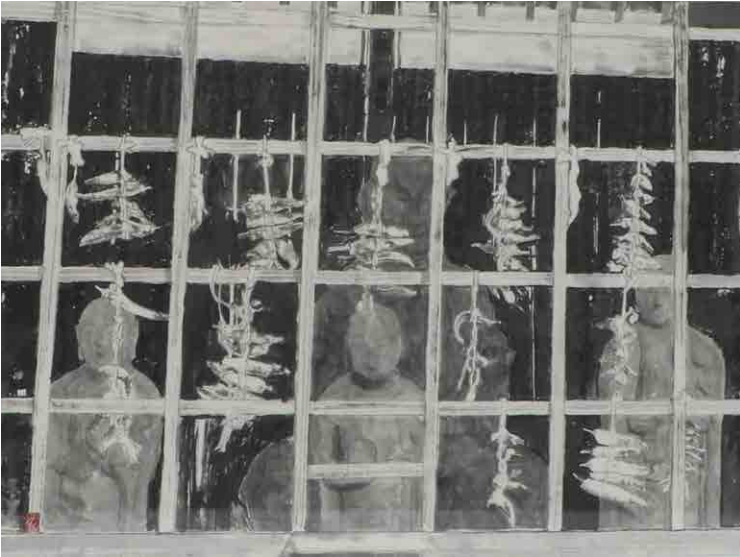


▲ 彫塑工芸
「継続」
伊藤克己



▲ 写真
「黎明」
古田恵美子

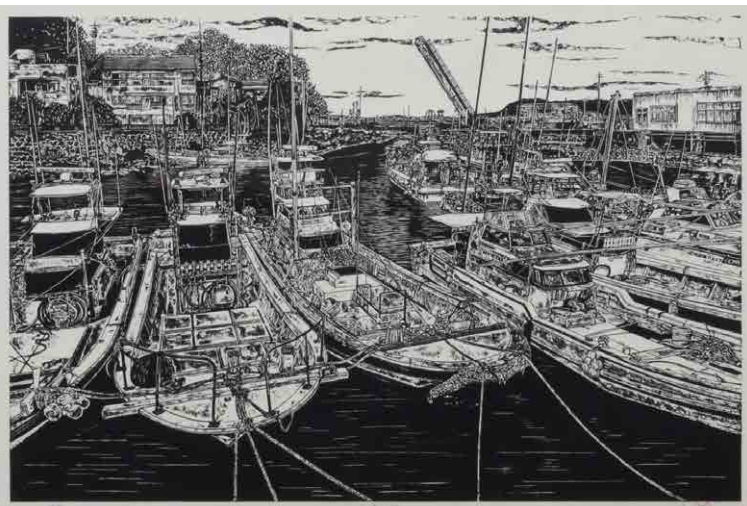
観光コンベンション協会会長賞



▲ 日本画
「咳の地藏堂」
舟 渡 悦 夫



洋画 ▶
「音楽への誘い」
大 橋 豊



◀ 洋画
「手結(てい)」
小笠原 広 行

始以蒲輪迎枚生見主父而歎息羣士慕嚮異人並
 出卜式拔於芻牧羊擢於賈豎衛青奮奮於奴僕日
 碑出於降甯斯亦曩時版築飯牛之明已漢之得人
 於茲為盛儒雅則公孫董仲舒兒寬篤行則石建石
 慶質直則汲黯卜式推賢則韓安國鄭當時

▲ 書
 「倪寬贊」
 山田素花

喜生一舟翠梅香裏
 勿怕茶清心善淨百

▲ 書
 「春生竹翠梅香裏」
 黑田玲翠

其文曰皇統筆骨承天畫卦顏育空來制
 元季俱祖紫宮大吐刺不空伯承天之語乾元
 後制百王獲麟來吐刺不空伯承天之語乾元
 以來三九之載八皇三代至孔乃備

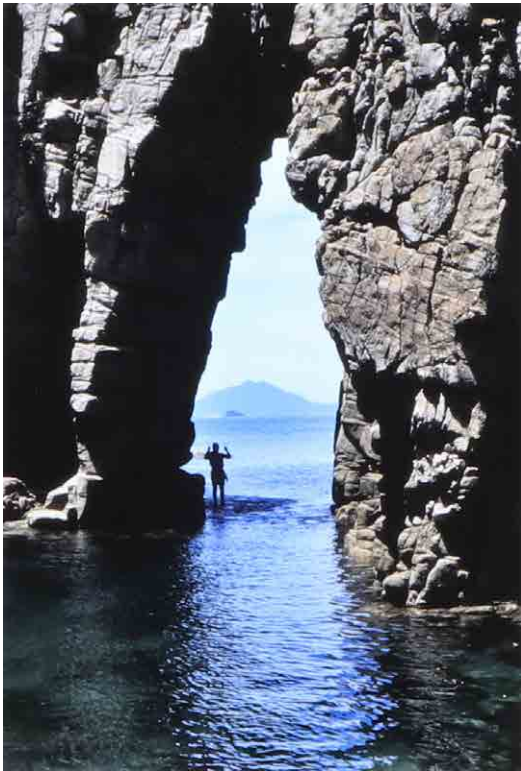
▲ 書
 「礼器碑」
 小川蘭舟



▲ 書
「能幽能明能細能巨」
高山紅雪



彫塑工芸 ▶
「ものおもい」
奥村日出夫



◀ 写真
「洞門」
下平 邦弘

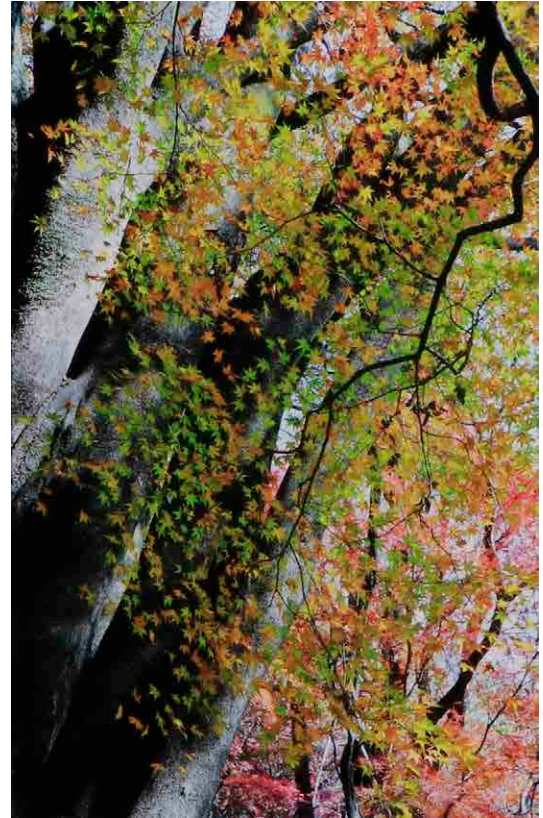


写真 ▶
「秋を装う」
藤田 文夫



◀ 写真
「出番準備」
平田 重模

委嘱特別賞

日本画
「面影」
坪井 勇

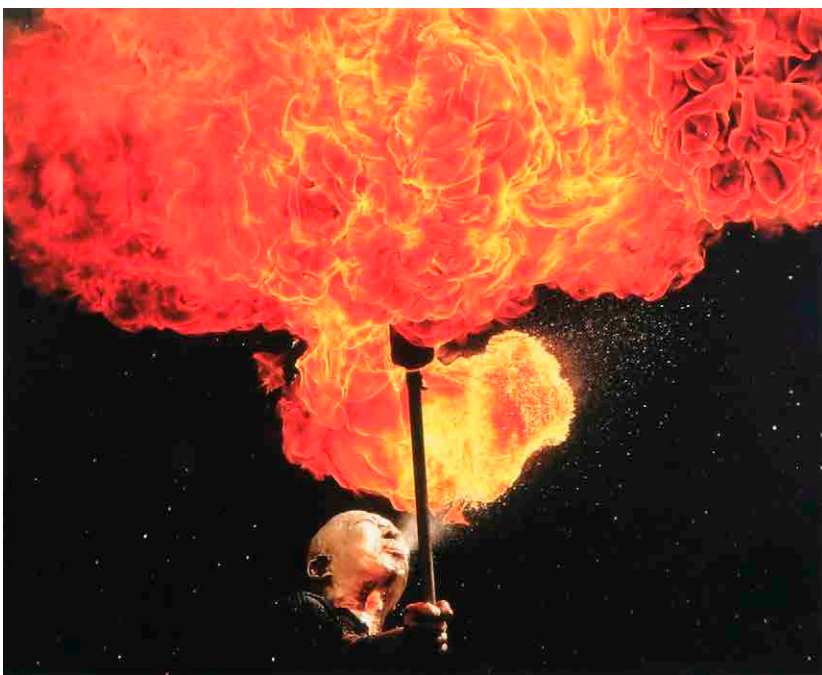


◀ 洋画
「休日の工場」
奥村 進



▲ 書
「豊一郎の詩」
今井芝香

彫塑工芸 ▶
「調べ」
館内圭子



◀ 写真
「炎を操る」
中西真二

特 別 賞

(五十音順)

日 本 画

| | | |
|--------------------------------|--------|-----------|
| 市 長 賞 | マヤ | 棚 橋 文 代 |
| 財 団 理 事 長 賞 | ネクロポリス | 橋 本 眞 知 子 |
| 教 育 委 員 会 賞 | 百獣之王 | 田 口 五 津 子 |
| 市 議 会 議 長 賞 | 芙蓉 | 佐 伯 茂 明 |
| 観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞 | 咳の地藏堂 | 舟 渡 悦 夫 |
| 委 嘱 特 別 賞 | 面影 | 坪 井 勇 |

洋 画

| | | |
|--------------------------------|-------------|-----------|
| 市 長 賞 | 犬山まつり | 田 邊 陸 男 |
| 財 団 理 事 長 賞 | 街角のギターリスト | 早 川 瑛 子 |
| 教 育 委 員 会 賞 | あの時のpromise | 棚 瀬 眞 理 |
| 市 議 会 議 長 賞 | 仲良し 山羊仲間 | 会 津 清 子 |
| 観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞 | 音楽への誘い | 大 橋 豊 |
| 観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞 | 手結(てい) | 小 笠 原 広 行 |
| 委 嘱 特 別 賞 | 休日の工場 | 奥 村 進 |

書

| | | |
|--------------------------------|---------|-----------|
| 市 長 賞 | 一枕鳥聲 | 藤 田 香 志 |
| 財 団 理 事 長 賞 | 幻の湖 | 古 家 野 弥 生 |
| 教 育 委 員 会 賞 | 海の怪 | 古 川 智 貴 |
| 市 議 会 議 長 賞 | 楊基詩 | 大 畑 華 雪 |
| 市 議 会 議 長 賞 | 水光微茫 | 五 藤 しのぶ |
| 観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞 | 礼器碑 | 小 川 蘭 舟 |
| 観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞 | 春生竹翠梅香裏 | 黒 田 玲 翠 |

書

| | | |
|--------------------|----------|------|
| 観光コンベンション 協会会長賞 | 能幽能明能細能巨 | 高山紅雪 |
| 観光コンベンション 協会会長賞 | 倪寛賛 | 山田素花 |
| 委嘱特別賞 | 豊一郎の詩 | 今井芝香 |

彫塑工芸

| | | |
|--------------------|---------------|-------|
| 市長賞 | 網代蓋付き菓子器 宵星菊花 | 鈴木善之 |
| 財団理事長賞 | シャトルⅡ | 棚橋繁 |
| 教育委員会賞 | バンブーオーケストラ | 町野好宥 |
| 市議会議長賞 | 継続 | 伊藤克己 |
| 観光コンベンション 協会会長賞 | ものおもい | 奥村日出夫 |
| 委嘱特別賞 | 調べ | 舘内圭子 |

写真

| | | |
|--------------------|-------|-------|
| 市長賞 | いざ舞台へ | 榊原司 |
| 財団理事長賞 | 妙技 | 神戸敏文 |
| 教育委員会賞 | 夏夜の幻影 | 中村春喜 |
| 市議会議長賞 | 黎明 | 古田恵美子 |
| 観光コンベンション 協会会長賞 | 洞門 | 下平邦弘 |
| 観光コンベンション 協会会長賞 | 出番準備 | 平田重模 |
| 観光コンベンション 協会会長賞 | 秋を装う | 藤田文夫 |
| 委嘱特別賞 | 炎を操る | 中西眞二 |

奨 励 賞

(五十音順)

日 本 画

島 村 旭 山小屋の窓辺から
波多野 立 子 ルピナス
松 家 節 子 ガジュマルの木

洋 画

足 立 暁 子 高千穂峡
緒 方 隆 デコポン
小 縣 英 明 稲架(はざ)掛け
岡 本 ちか子 孫とぶどう狩り
小 澤 良 子 蓮池
高 橋 俊 二 路地を抜ける風(篠島で)
竹 村 みち子 実芭蕉の杜
原 田 進 内津川にて
平 野 雅 子 逆光浴びて
森 島 美佐子 すずかけの木

書

板 津 優 花 孫秋生造像記
伊 藤 恵 光 元永本古今集
伊 藤 園 子 雪
白 井 照 虚心担懐、無礙融通
鹿 倉 清 葉 陽和
北 野 桂 秀 壽安・賢者樂此
作 田 紫 泉 雪中の鷺
塚 本 清 翠 酌一杯
津 田 玲 月 書譜

永 田 正 毅 山月隨人帰
林 菁 鶴 太陽 八木重吉の詩
坂 みゆき 扇
藤 井 静 代 春三題
藤 田 竹 葉 史頌簋
間 瀬 慶 風 祭姪文稿
吉 田 翠 香 高村光太郎の詩

彫 塑 工 芸

杉 本 達 哉 時のゲーム
田 川 零 吉 帆船
平 井 輝 彦 白麗

写 真

安 藤 稔 黄昏を載せて
伊 里 孝 彦 夫婦岩の満月
大 場 浩 之 華麗な舞い
木 村 弘 之 秋の朝景
長谷川 英 乃 朝霧湧く
長谷川 能 文 青空の下で
古 田 修 火ぶり漁(馬瀬川)
前 川 敦 哉 ミライへ
前 村 嘉 治 満開の星空
雪 嶋 大 家族・やさしい時間
脇 田 順 子 一休み一休み

高校生奨励賞

(五十音順)

日本画

藤田 穂名 鳩とおじいちゃん

洋画

松原 さや 海のおくりもの

書

小出 真央 雪中の鷺

橋本 昊暉 春暁

村瀬 由菜 詩神

写真

宮城 ナタリア 五月晴の踏切電車

入

選

(五十音順)

日本画

相内 恵一 春うらら

五十嵐 美絵 渾天儀

伊藤 千浪 霜降の頃

猪又 良次 尾垂木

榎本 建三 峡谷

大嶋 本嗣 コットン。コットン

奥村 往躬 馬頭観音模写

亀井 伸司 滝と虹

小林 光雄 滝

佐倉 久子 シクラメン

清水 伸一 鬼面閣(サボテンの花)

末松 満里子 祈りのきざはし

杉山 美千代 かば

高木 哲男 おいらの滝

高嶋 康子 雪原を駆ける

辻 一成 兄と妹

名倉 美由紀 奥入瀬溪流 銚子大滝

洋画

秋本 慎ノ介 ティラノザウルス

浅田 典子 切り株

浅野 勝一 師弟

足立 ほなみ 楽観的

安藤 恵一 思い出の路

安藤 友南 花かご

石井 伸子 ひととき

石川 茜 蒸気機関車

石川 公子 マレーシアのゴム園

市川 由記 さぼてん2406

伊藤 明子 猫と大根

伊藤 左余子 町工場

伊藤 武臣 切り株2

伊藤 秀和 タンクのある工場

伊藤 雅之 陽だまり

宇治原 正子 秋

浦 聖人 人間を憂うサル

大島 巖 阿弥陀如来坐像

大脇 宣夫 山岳風景

小黒 由美子 平城京をしのぶ

尾澤 芳子 卓上の花

織田 ナオキ 萌えるトルソー

加藤 彩花 猫室

加藤 砂夫 女神

加藤 麻穂 百獣の王

金澤 正浩 投網

金子 哲 枯れたひまわりの花言葉

加納 裕美 五百羅漢(興津清見寺)

栢 森 紗央莉 あいすじやなくて君をみます

川上 恵子 紅葉と初雪

川口 環子 サボテンの花

川嶋 璃子 コメダ

GYAHA屋 きよこ 感謝

熊澤 由美子 ハレの日に

小林 和美 乗鞍岳遠望

小林 雍正 海津大崎の桜と竹生島

齊藤 豊 ホテルの小部屋

佐久間 和正 勝川駅前東交差点

島 貫 智子 椰子の実のある光景

| | | | | | |
|--------|----------------|----------|-------------------|-------|---------------|
| 下田郁代 | 牡丹 | 松下仁 | 学校の中からの景色 | 今田実佑 | 孟浩然詩 |
| 末永ユリ子 | 鳥かごとアナベル | 松田美智子 | ユキヒョウ | 上原美代子 | 良寛のうた |
| 関口章 | 若き日の思い出 | 松永恵子 | 鏡平の夜に | 臼井大貴 | 蘭亭序 |
| 世古口寛子 | お寺参り | 馬淵眞一 | 平野に平和を | 梅田栄香 | 月光菩薩 |
| 高澤満知子 | いのちの輝き | みお | そら | 遠藤瑞希 | 北原白秋の歌 |
| 瀧川陽子 | 癒しの一時 | 右高伊津子 | 栗林公園(香川県) | 大内久子 | 獨樂 |
| 田屋澄江 | 街角のワイン工房 | 水谷寿美子 | 虹色の街 | 大澤逍遙 | 長樂萬年 |
| 塚原昭和 | ダンサー | 水原ハル | あの人の花嫁 | 岡知里 | 臨礼器碑 |
| 辻一成 | 兄と妹 | 村上健 | 再生 | 岡本蒼生 | 變化の蓑 |
| 土屋文秀 | ディスクゴルフ~池を越える~ | 村瀬貴久雄 | 躍動!!おおもみじ(愛岐トンネル) | 奥井謙太 | 李嶠詩 |
| 寺澤明芯 | さぶかるちゃあ | 村田恒雄 | ブルージュ | 奥田霞峰 | 雲蒸龍變 |
| 遠山健 | 馬籠宿 | 山下紗星 | 一面に咲く花 | 奥村翠月 | 城左門詩 夜雨(抄) |
| 富山仁美 | 五月奏祭 | 優衣 | 清水寺 | 小栗舟秀 | 自叙帖 |
| 鳥頭吾郎 | 嫁 of afterlife | 吉見かほり | 気ままにお散歩 | 落合博歩 | 十七帖(三井本)積雪凝寒帖 |
| 中條巖 | 娘舞。 | 渡辺朋子 | 流れにそそぐ光 | 加登さくら | 多宝塔碑 |
| 長縄紀子 | 使われなくなった納屋 | 渡邊海衣 | 寝転がり | 加藤敦美 | 盆景 |
| 長野恭治 | 躍動 | | | 加藤咲羽 | 競馬場にて |
| 中村正之 | かつとう | 書 | | 蟹江和江 | 室内楽 |
| 中村みよ子 | 大切な家族 | 相原菅雪 | 自叙帖 | 神村瑤春 | 野口雨情の詩 |
| 永森七海 | よだか | 青山莉子 | 鬘宝子碑 | 神山昌子 | 七言二句 |
| 中山恒忠 | 大移動 | 浅井陽子 | 春の頌・・・Ⅱ風景 | 河口航毅 | 松林 |
| 虹沼色五郎 | 懐かしの故郷 | 安藤紫水 | 山行 殷遙詩 | 川瀬莉南 | 書譜 |
| 野中清三 | あどけない感じ | 井口佳洋 | センチメンタル・ジャアニイ(抄) | 神沢紅峯 | 江南春 |
| 長谷川まり子 | 開聞岳からの展望 | 伊澤心優 | 蘭亭叙 | 神戸千春 | 誓子の句 |
| 早川貞臣 | 尾瀬の秋 | 石川真曄 | 大古墳 | 北村栖軒 | 蘭亭序 |
| 坂野うた子 | 歩荷の女性 | 市川尚子 | 幽花間古柏 | 木下心響 | 孔子廟堂碑 |
| 日置貴子 | ザクロ | 伊藤亜希 | 公経の歌 | 木野瀬陽光 | 杜甫詩 |
| 平岡容 | 銀杏の樹下にたたずむ祠 | 伊藤寿美乃 | 菊 | 草川竹露 | 無為自然 |
| 平野琴音 | 湖のほとり | 伊藤清翠 | 夕暮 石川啄木の詩 | 工藤愛実 | 賀蘭汗造像記 |
| 深谷久美子 | 月下美人 | 井藤千鶴 | 王羲之尺牘 | 國廣遙 | 蟻の歌 |
| 堀敦子 | 牡丹 | 伊藤千夏 | 臨争坐位文稿 | 熊谷涉 | 時雨 |
| 堀場由美子 | 夏の終わり | 伊藤立夏 | 衛恒四体書勢 | 小松永愛 | 王羲之・楽毅論 |
| 増田陽 | 義務教育 | 稲垣茉莉亜 | 顔真卿 | 近藤智昭 | 龍 |
| 町野好宥 | 追憶 | 今田春恵 | 孫逖詩 | 近藤仁美 | 竹内都の詩夢の結果 |

| | | | | | |
|-------|---------|---------|------------|-------------|------------------|
| 齋藤香音 | 蘭亭序 | 野田芳樹 | 彦造の詩 | 山岡清風 | 桃花欲経夏 |
| 堺千重美 | 楊維禎詩句 | 萩原清澄 | 送友人 | 山口真翠 | 冬の夜 |
| 酒井鳴石 | 楊峴の書 | 萩原由希子 | 林檎屋の小娘 | 山口真生 | 泰山 |
| 境優芽 | 木簡 | 橋倉詠雪 | 繁 | 行武真由美 | 創業垂統 |
| 境田真美 | 牛楸造像記 | 橋傍草堂 | 泊歛浦 | 吉川春泉 | 十四夜月を待つ |
| 坂下寿子 | 楊柳青々 | 長谷川あづさ | 楽毅論 | 吉田那奈 | 王羲之尺牘(得郷里人書帖) |
| 三峯 | 臨書 自書告身 | 長谷川育子 | 万葉集 | 吉田陽生 | 皇甫誕碑 |
| 清水美水 | 蘭亭序 | 長谷川和音 | 鶯帰樹頂繁声転 | 吉田芳水 | 中秋帖 |
| 下村朝子 | 雲珍しき | 服部敦子 | ほととぎす | 若杉春佳 | 李嶠詩 |
| 杉浦璃子 | 臨書譜 | 春野瑞希 | 海の風景 | 渡邊磨璃 | 十七帖 |
| 杉崎羽琉 | 集王聖教序 | 平子正江 | 飛星傳恨 | | |
| 鈴木碧山 | 亀龍壽 | 広井雅風 | 芳樹無人 | 彫塑工芸 | |
| 鈴木優子 | 蘇孝慈墓誌銘 | 福定美保子 | 眺望 | 青木一江 | 花火 |
| 大保春麗 | 一枕烏声残夢裡 | 藤森彩雲 | 茅舎の句 | 池井頼雄 | 初日の大空に歡喜の翼 |
| 多田祐子 | 星とたんぽぽ | 細川厚子 | 晩春の別離 | 岩田洋 | 菖蒲文陶管 |
| 楯勝苑 | 雨快帖 | 堀清琴 | 蘇東坡詩 | 萩須明彦 | 想い出 |
| 田中薫園 | 送友人 | 本多しまゑ | 臨哀冊 | 加藤雅巳 | 備前茶盃 |
| 田中滉樹 | 平城上皇詩 | 前川瑞峻 | はつ夏 原民喜の詩 | KIRIGAMI 武 | 紙のミニ盆栽 |
| 田邊華芳 | 魯山山行 | 前田笙風 | 送杜少府之任蜀州 | 小林千恵美 | トレドの街 |
| 津田奏遥 | 吾廬無夏日 | 松岡洋子 | 至徳不得 | 櫻井茂 | 菖蒲 |
| 土屋涼花 | 相思 | 松野悦子 | 上善若水 | 佐高麻理子 | パピヨン |
| 都築萌々花 | 無題 | 松野莉子 | 廢墟の眼鏡 | 示崎マキ | 風景 |
| 坪井重夫 | 滌除玄覽 | 松元涼風 | 何紹基 | 創作ちりめん細工 亜希 | お細工物と手まり~私の大切な時間 |
| 津山栖峰 | 礼器碑 | 水谷碧愛良 | 孔子廟堂碑 | 高野由則 | 高野山 奥の院への道 |
| 寺尾知映子 | 青葉城 | 水野悦子 | 木曾御岳 | 永井律夫 | 糸かけアスリート |
| 富田鶴美 | 石川啄木の詩 | 水野琴葉 | 雪中の鷺 | n i n o | ふるさとの風景 |
| 中内早紀 | やま | 水野遥風 | 遊山 | 林孝子 | 秋の交響曲 |
| 永草紅風 | 神亀雖寿 | 宮下恕光 | 集王聖教序 | 東島久美子 | 癒しの園 |
| 中敷領立庭 | 十七帖 | 三輪桂女 | 孔子「論語」以和爲貴 | 菱田久仁雄 | 女 |
| 中谷翠月 | 高翥詩 | 三輪セーザル光 | 不忘初心 | 美頭保 | 愛しき昭和の風景 |
| 中野淳翠 | 広瀬川 | 村田麗水 | 仁者無敵 | 藤谷拓己 | 森のどうぶつさん |
| 成瀬真貴子 | 春よ来い | 森帆乃香 | 日の光 | 藤原可奈子 | きらめき |
| 西尾春瑠 | 多宝塔碑 | 森下青溪 | 勞遠夢 | 藤原秀子 | 涼やかな夏 |
| 野口由美 | 大道不器 | 山浦洋子 | 砂の心 | 松本廣行 | 叫び |

| | | | | | |
|------------|-----------------|--------|--------------|---------------|----------------|
| miyane_san | その先に | 川口 剛 | 蓮 | 中西 謙一郎 | 鯉のぼり |
| 山田 甲虫 | ツイスト・アンド・シャウト | 岸 才紋 | 光 | 中村 和夫 | 風の戯れ |
| 山田 幸江 | 穏やかな日が早く訪れます様に。 | 桐井 政信 | 黄昏月 | 中村 庸男 | 春日和 |
| | | 久野 榮次 | クライマックス | 名倉 進 | 赤と黒 |
| 写 真 | | 熊澤 晴夫 | Wing | 南谷 優祐 | 雨の中で |
| 荒川 一正 | 伊良湖岬幻想 | 熊野 義樹 | 青に魅入られて | 丹羽 守男 | 三兄弟 |
| 井澤 修示 | 虎溪山 永保寺の紅葉 | 小篠 利史 | ねんねこよ | 橋本 章 | 長崎夕景 |
| 石井 和廣 | 峡谷に注ぐ | 小島 光春 | 子鹿の迷い | 長谷川 忠志 | 黄昏 |
| 石川 宜明 | 背競べ | 後藤 和雄 | 龍神の舞い | 波多野 咲枝 | 水景 |
| 石黒 清孝 | 疾駆 | 後藤 謙助 | 古(いにしえ)への思い | 波多野 豊子 | 春満開 |
| 石黒 良夫 | 夏の終わり | 小林 克子 | 盛り上げる | 波多野 肇 | ハイ・ヌーン(日盛り) |
| 磯村 弘 | 希望の光 | 小林 光雄 | 公園内の全影 | ひーちゃん | 子イヌたち |
| 伊藤 智広 | 桜咲く頃 | 近藤 大司 | シロツメクサ | 平澤 孝允 | やっと見つけた(アオバズク) |
| 伊藤 芳英 | 山鳥の尾の長々し | 近藤 ひとし | 薄暮 | 藤井 孝顕 | 希望への桜並木 |
| 稲垣 一弘 | 静かな朝 | 近藤 義教 | 輪中の郷 | 真木 美知子 | はて!? |
| 稲垣 翔太 | 諍い | 斉藤 光代 | タッチ タッチ タッチ! | 松澤 敏治 | 雪吊夜景 |
| 稲垣 哲也 | 三つ巴 | 酒井 親 | 庭の宝石 シャクナゲの花 | 松田 千裕 | こどもごころ |
| 今泉 信一 | あきつの恋 | 坂本 秀明 | 雨の秋元湖 | 南 典男 | 藍のキャンバス |
| 江崎 光男 | 菊花爛漫 | 澤田 昌俊 | 半田山車祭り | 村田 正美 | ふるさとの朝 |
| 大熊 俊雄 | 春のおとずれ | 三 峯 | 排水 | 森 幹雄 | 秋好日 |
| 大柳 庸子 | 乙女椿 | 信濃 喜六 | お花見(ミーアキャット) | 山内 直樹 | 翔龍 |
| 岡島 敬司 | 話題はひ孫 | 清水 義博 | 申の刻下がりにいる猫 | 山口 勝 | 夕映え |
| 小川 洋子 | メロディ | 白井 彩子 | 朝日 | 山田 直幸 | 玉野溪谷に泳ぐこいのぼり |
| 沖 靖人 | 翁の風格 | 杉浦 英幸 | 宇宙との交信 | 吉澤 凜羅 | 細雪に傘 |
| 奥田 健斗 | 清流 | 杉村 靖之 | 残照 | 吉田 勝志 | 錦秋の森 |
| 小原 奈緒美 | あおい時 | 杉山 道生 | 新緑の安らぎ | 吉田 亘 | のぼり |
| 折戸 秀明 | 花と眺望 | 鈴木 宏昭 | 日・印 絆の盆踊り | RISA KITAMURA | SPACE COWBOY 2 |
| 垣内 正博 | 光輝く道へ | 高比良 浩三 | 定家葛 | り り い | 命の巡りの始まりと終わり |
| 籠橋 定省 | 鮎ゲット | 田口 萌流 | 一走入魂 | 渡邊 勉 | ジャンケン |
| 笠原 照雄 | 日中友好花筏 | 田村 元雄 | 城下の祭り | 渡辺 裕人 | いつか、とどく |
| 加島 治夫 | 晩秋の輝き | 千葉 昭二 | 花の里 | | |
| 片田 芳朗 | 緑陰のソリスト | 仲井 由美子 | 真夏の幻 | | |
| 加藤 恵利 | 特別な休日 | 長尾 千恵子 | 日向の居心地 | | |
| 荻谷 秀樹 | たまちゃん | 長田 雅人 | マジックアワー | | |

無 鑑 査

(出品者のみ、五十音順)

日 本 画

飯 尾 博 明 癒着合体
 梶 田 俊 計 迷い鶴
 佐 伯 茂 明 芙蓉
 武 内 喜代子 アマ・ダブラム(ネパール)
 棚 橋 文 代 マヤ
 松 本 道 子 インドの旅 回想
 山 田 憲 子 遠き光

洋 画

会 津 清 子 仲良し 山羊仲間
 老 本 貴美枝 ダム
 大 橋 豊 音楽への誘い
 小笠原 広 行 手結(てい)
 加 藤 千恵子 眺望(御在所岳より)
 神 戸 健 志 桜山の動かないビルヂング
 佐 藤 百合子 残像
 鈴 木 良 昭 ダム
 田 邊 陸 男 犬山まつり
 橋 本 進 北陸の海景
 浜 谷 真知子 公園にて
 早 川 瑛 子 街角のギターリスト
 深 山 百合子 植物園
 水 野 幸 子 風のメッセージ

書

伊 藤 翠 月 書譜
 伊 藤 柳 香 川しろじろとまじはりて

上 田 清 楓 孫逖詩
 大 橋 幽 徑 雲
 岡 田 雪 魚 礼器碑
 小 川 華 舟 肇
 笠 木 柏 舟 朝の車窓から
 梶 田 汀 雨 雨垂れの歌
 加 藤 貴 咲 こだまのニンフ
 加 藤 佳 茜 礼器碑
 加 藤 紅 曄 光太郎の詩
 亀 田 橋 河 書譜
 川 合 碩 山 楊 萬里 詩
 河 地 一 舟 李嶠詩
 河 地 柳 玉 灌頂記
 河 原 綵 子 千ぐさの春
 工 藤 雅 恵 林外雪消山色静
 小 島 徹 摩周湖
 小 林 溪 翠 乙瑛碑
 小 林 恵 風 波濤
 酒 井 耕 雲 宋・梅堯臣詩
 重 見 梢 玉 Nocturne 華
 柴 田 美 保 夏目漱石詩
 清 水 竹 水 李白 望天門山
 鈴 木 春 葉 ルイーゼ・グリュックの詩 天と地(抄)
 高 倉 佳 風 約束
 竜 田 春 蘭 江楼望郷寄内
 谷 利 紫 鳳 正岡子規の句
 豊 田 玉 葉 戴叔倫詩
 中 澤 抱 翠 鶯花世界如春夢

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 長 縄 桃 李 | 木簡 | 川 口 瓊 子 | サマーガーデン |
| 永 見 沙 香 | 千峰鳥路含梅雨 | 棚 橋 繁 | シャトルII |
| 西 山 美 翔 | 春宿左省 | 長 瀬 徹 宗 | 金剛力士像 |
| 仁 部 巒 瑠 | 尾崎喜八詩 | 平 野 鎮 雄 | 斑鳩の里 |
| 野 中 游 園 | 詠富士山 | 村 田 紀 子 | 散 |
| 野々川 翠 扇 | 咏風 | | |
| 羽 柴 苔 谷 | 孝女白菊の歌 | | |
| 長谷川 由記子 | あどけない話 | | |
| 林 泰 伯 | 物語の朝と夜 | | |
| 原 三 篁 | 木簡 | | |
| 菱 川 武 | 仰不愧天 | | |
| 平 野 智 山 | 草原 | | |
| 藤 田 香 志 | 一枕鳥聲 | | |
| 藤 縄 昌 江 | 張 | | |
| 古 橋 篤 和 | 曹全碑 | | |
| 増 田 紅 葩 | 杉田久女の句 | | |
| 松 田 玲 花 | 八月十九日帖 | | |
| 松 原 楽 朋 | 詩神 | | |
| 宮 田 澄 希 | 自書告身 | | |
| 山 本 康 二 | 西風断雁声 | | |
| 横 井 光 城 | 岳陽晚景 | | |
| 吉 岡 翠 谷 | 夢想 | | |

写 真

| | |
|---------|------------------|
| 石 井 啓 喬 | 華麗に舞う |
| 市 原 淳 宏 | 甦る思い出 |
| 岡 重 桂 介 | 京の風物詩/舞妓さんとお地蔵さん |
| 神 戸 敏 文 | 妙技 |
| 鈴 木 建 彦 | エナガの親子 |
| 竹 島 光 治 | 造形 |
| 竹 島 洋 子 | 遅い春 |
| 永 田 昭 夫 | 夫婦愛(サンとルナ) |
| 永 宮 正 義 | ひな祭り |
| 早 川 幸 夫 | 気嵐沸き立つ |
| 林 征 樹 | 癒しの里黒川温泉の朝 |
| 平 田 重 模 | 出番準備 |
| 藤 田 文 夫 | 秋を装う |
| 松 永 昭 弘 | 駆け抜ける春 |
| 松 本 唯 明 | 梅雨の晴れ間に |
| 森 本 修 | こいぶみ |
| 山 田 徹 | 激戦を制す |
| 吉 野 徹 | 春おぼろ |
| 吉 村 清 子 | 幸はかすがい |

彫 塑 工 芸

| | |
|---------|---------|
| 大 竹 恵 子 | 眺望 |
| 奥 村 日出夫 | ものおもい |
| 小 倉 せい子 | 可愛い帽子 |
| 加 藤 知 子 | 恋するグッピー |

委

嘱

(出品者のみ、五十音順)

日 本 画

奥 村 日出夫 速水御舟「牡丹花」模写
 瀧 日 勝 子 青い芥子
 坪 井 勇 面影
 富 永 美千代 ルピンダ
 平 松 節 子 ピラルケー
 山 下 勝 一 阿修羅

洋 画

伊 藤 泉 バラ
 大 泉 雄 一 コンビナートⅣ
 奥 村 進 休日の工場
 小 原 芳 子 漁港
 加 藤 祝 章 梅花藻
 加 藤 美代子 富士山
 黒 原 すみえ 記憶にある場所
 白 鳥 喜代司 朽ちる
 鈴 木 英 機 豊浜港の漁船
 松 岡 弘 美 WATA
 山 本 英 之 夕焼け

書

伊 藤 芳 華 宮柊二の句
 今 井 芝 香 豊一郎の詩
 岩 田 守 文 臨・真草千字文
 鶴 飼 冠 山 鶴驚秋露三更月
 宇 野 光 峰 和菓子とわたし
 大 嶋 雲 亭 軽燕受風迎落絮

小 幡 豊 園 王羲之集字聖教序
 加 藤 城 涯 閑適
 神 戸 春 谷 濃霧(抄)石川善助の詩
 小 林 京 苑 石山切伊勢集
 鈴 木 美 月 森山良子の詞
 波多野 明 翠 笑う門には福来る
 服 部 光 峰 杜牧の詩「山行」
 横 井 吟 虹 まほろしのさくらあふるる月のなか

彫 塑 工 芸

伊 藤 時 子 旅の思い出Ⅲ(スイス、レマン湖畔)
 打 田 世 道 七宝「花器」
 館 内 圭 子 調べ
 西 口 昭 雄 天空の花園
 松 本 芙三子 花舞
 八 木 宏 美 京都のお寺にて
 安 江 勝 夫 母と子

写 真

大 嶋 和 美 木洩れ日に輝く
 坂 本 進 密か
 外 勢 肇 激走
 中 西 眞 二 炎を操る
 村 里 茂 延 大雪の日
 森 田 和 生 威嚇

市民美術展覧会審査委員

(順不同)

日本画

安達 英志郎 マスカレード(親子)
 森脇 仁士 舞踏会は終わらない
 浅野 忠 雪景
 鈴木 淳子 ある日
 瀧下 尚久 散花
 加藤 洋一朗 陽のあたる場所
 芝 康弘 静かな風の音に

洋画

奥村 浩康 陶
 小林 笑子 アオキの緑
 小林 俊明 梅雨の合間に
 塚田 譲 北信濃・菜の花公園
 岡部 寛治 旅の思い出(スペイン)
 新井 直子 初夏を待つ
 兼 忠志 氷柱・STOP温暖化
 新美 哲也 花謝樹無影

書

中村 立強 野寺訪僧
 藤田 金治 -
 長谷川 秀谷 光圀の言葉
 石黒 柏葉 旅人よ
 後藤 幽泉 和顔愛語
 故木 全春葉 石川啄木のうた
 安達 柏亭 -
 橋詰 桃邨 禍兮福所倚 福兮禍所伏
 日比野 桃花 臨 初月帖
 武内 峰敏 武内幽華の句
 川本 赫汀 大航海

原田 凍谷 ああ 旅に行きたい
 長谷川 清城 心の中
 山川 昌泉 白雲抱幽石
 梶田 文宗 萬物生光輝
 後藤 抱琴 石川啄木の詩一握の砂より
 津田 松鶴 李嘉祐の詩
 鈴木 香萩 燕
 三島 濟美 -
 伊藤 井翠 春夜洛城聞笛
 川本 大幽 赤とんぼ
 落合 棲谷 雲外蒼天
 河地 栖雲 仲殊絶句
 小山 峯雲 陸游詩
 永瀬 紅蘭 芭蕉の句
 松本 盈真 対酒當歌人
 小坂 克子 鮮克宗經
 鈴木 凍山 時の旅人

彫塑工芸

高橋 佐門 粉吹窯変俵壺
 柴田 明 有線七宝抽象文花瓶
 河村 佳則 あそぼうよ
 伊藤 典子 SO宙RA
 丹羽 萌 問いかけ

写真

伊藤 滋 ゴールイン
 安藤 宏幸 祈り
 奥村 克己 春霧
 丹羽 省吾 晩秋に佇む

審 査 講 評

日 本 画

今年の日本画部門ですが、ここ数年は審査員が幾票かの札を持ち、良いと思った作品に票を投じ、沢山票を集めた作品を上位から決めていくといった審査方式でしたが、今年が一番推す作品を各々が決め、その理由を述べ合いそれを経てじっくりと決めました。多数決は合理的で公平ですが、時に機械的になりすぎる問題も生じる為、特別賞をこの様に時間をかけて審査の方向性、ひいては市民展の今後の理想形を話し合いながら決めていくことは大切なことだと考えています。

毎年経験を積みながら、確実にテーマ、技術力をステップアップされている方が増えていると思います。定石だけに留まらず独自性の強い魅力のある水墨画も目立ちました。

市長賞 黒豹の幽遠な雰囲気が高度に表現されています。色、構図共に心地よいです。主従関係を理解して描いているので大きく迷うことなく表現されているのでしょう。

財団理事長賞 まずシンメトリーの構図に光と影、人物の配置で微妙にバランスを崩し変化をつけていることに工夫が見られました。岩絵具の塗り重ね方も上手で質感が感ぜられます。

教育委員会賞 絵画的に魅力の強い作品です。決して大きな作品ではありませんが、寧ろ画面から飛び出してくる様な迫力を感じます。この様なエネルギーの出し方を続けて下さい。

市議会議長賞 芙蓉の花、葉のシルエットにリアリティがあり、作者の丁寧な観察眼を感じます。花卉の彩色に質感が表現されるとな幸いです。

観光コンベンション協会会長賞 画面の構成がとても巧みで、濃墨、中墨、淡墨で空間の奥行きを色面的に捉えています。表現に独自性を感じました。

委嘱特別賞 緑を基調に上手くまとめられています。表現し過ぎていない所に好感が持てました。

今年から高校生奨励賞が設けられ、日本画部門でも該当する作品が選ばれました。日本画は経験が必要とよく言わ

れますが今回の受賞作の様に8号くらいの大きさから始めると意外と最後まで楽しく描くことができます。日本画材の魅力として独特の味わいも出ますので市民展を通してどんどん日本画にチャレンジして頂きたいです。

＜日本画部門審査員 芝 康弘＞

洋 画

今年は、市民の皆さんの応募が高校生の多数の出品もあり、昨年より多くなりました。一般101点、無鑑査14点、委嘱11点に加え審査員8点、合計134点です。特別賞を選出するにあたり、一般より選ばれた11点の賞候補と無鑑査14点を加えた25点の中から6点を選びました。

市長賞に選ばれた作品は城下町の賑やかな風景でお祭りに参加する人々の生き生きとした様子がまるで今にも動き出しそうに、細やかに描かれ、楽しさが伝わってきました。

財団理事長賞の作品は人物のデッサンが上手く、重厚なマチエルの白い壁に熱い太陽の日差しが眩しく、奏でる音楽が熱気と共に聞こえてきそうな雰囲気の作品です。

次に、教育委員会賞の作品ですが、昨年に続き、筆ペンで細密で描く事に色と喜びが満ち溢れ他にはない独自の世界観がありました。

ずっと同じモチーフでテーマを追い続けることも大切であり、ヤギを追い続ける作品は市議会議長賞となりました。横長のM100号のキャンバスを用いたことも効果的でした。

静かな空間にバイオリンを奏でる二人の女性、弓の方向と人体のコンポジションが上手くいった作品は観光コンベンション協会会長賞、また木版の白と黒のバランスがよく、コツコツと彫られた船の作品は絵として魅力があり、これも観光コンベンション協会会長賞となりました。同票獲得したにもかかわらず、決戦投票で惜しくも奨励賞となったバナナの木の絵はフルーツパークで描かれたと思われますが、南国の空気感が実体験と重なり、生きている本人の血肉となった生き生きとした作品でありました。

そして、奨励賞は一般の受賞候補から10点選ばれ、どれ

も描く喜びが溢れた生き生きした作品です。

委嘱特別賞になったのは、独特な色合いで作家の持ち味がでた作品です。委嘱ともなると作家としての独自性を追求し進化していく必要があります。また、私達もそれを楽しみに見届けたいと思っています。今後の更なる発展を期待します。

今年より、高校生奨励賞が創設され、14点の中から1点が選ばれました。この作品はモチーフを真摯に選び作品として丹念に仕上げたもので、これからも期待したい作品です。

高校生の絵に最近はやりのアニメなどがありました、ただアニメを描くのではなく、アニメ的なものを通して、絵画性を追求し、その人の独自性が表現されることが大切となります。根底にはアニメでも独創性、人とは違う表現があると人の心に突き刺さってくるのです。これから、たくさん現代絵画を見ることも多種多様の絵画の理解に繋がってくると思います。来年はもっと違った若さ溢れる絵画作品も期待したいと思います。

<洋画部門審査会員 小林 笑子>

書

本年も書のまち春日井と云われるに相応しい作品。漢字、かな、近代詩文書、少字数書、篆刻などの現在の書のジャンルの全てが出品され、春日井の書の層の広さ深さが改めて感じられた。

出品作品も各書流、書派の主張が、充分発揮され、魅力ある書展となった。

市長賞の藤田香志さんの作品は濃墨での運筆に力が有る。

財団理事長賞の古家野弥生さんは、近代詩文書を力むことなく表現している。

教育委員会賞の古川智貴さんは、近代詩文書を見る者に判り易く、市議会議長賞の大畑華雪さんは、淡墨の美しさを十分に発揮。五藤しのぶさんは、近代詩文書を理解し易く表現して魅力的である。

全体で246点の出品があった。

本年度、高校生の板津優花さんが奨励賞を受賞され、新設された高校生奨励賞を小出真央さん、村瀬由菜さん、橋本晁暉さんが受賞された。

<書部門審査会員 山川 昌泉>

彫塑工芸

今年度は昨年を上回り52点の出品がありました。嬉しい限りです。

一般31名、無鑑査9名、委嘱7名、審査会員5名の、多岐にわたる分野の作品を楽しく鑑賞していただけます。

審査では春日井市民のハイレベルな作品群で皆さんの力量差はわずかと思えます。

同票による決定が続き甲乙つけがたい賞もありました。

市長賞：鈴木善之さんの「網代蓋付き菓子器 宵星菊花」は竹を編み上げた美しいフォルムで、小さいながらも存在感のある秀作です。

財団理事長賞：棚橋繁さん「シャトルII」ステンレス平板の組合せによる作品で、輝く宇宙戦艦をおもわせ、量感、存在感抜群です。

教育委員会賞：町野好宥さん「バンブーオーケストラ」ミニ竹を使用したオーケストラは森の中から爽やかなメロディーが聞こえてくるようなとても楽しい作品と思います。

台を赤にされたこと的美観も共有出来ました。

市議会議長賞：「継続」伊藤克己さんは昆虫に思いをはせ、毎年出品される作品を楽しみにしています。今年はセミの脱皮の瞬間をとらえられて見事に仕上がっています。

観光コンベンション協会会長賞：「ものおもい」奥村日出夫さん 木彫で温かみのあるこの作品は長年の経験のたまものかと感じる佳作です。

奨励賞：「帆船」田川零吉さんアイスクリームのヘラなどの廃物利用して見車な工芸品に仕上げられています。

「白麗」平井輝彦さん粘土作りの美しい花瓶、「時のゲーム」杉本達哉さん立体感のある刺繍で仕上げられた額装は

初出品、初受賞の30代男性。

委嘱特別賞：「調べ」館内圭子さん伝統工芸の桐塑人形は、木芯桐塑胡粉紙貼仕上げで着物の一部は布張りかと思われま。非常に緻密で細部まで丁寧に仕上げられて、童の笛の音色を感じさせる秀作であります。

彫塑工芸部門は、個々の持てる感性と情熱で時間と労力をかけて仕上げられたエネルギー溢れる作品が展示されています。

今回は新たな技法による作品も数点出品され、素材を生かし、創意工夫をして独創的作品に仕上げることが大切かと思ひます。

次年度も彫塑工芸部門の更なる躍進を楽しみにしています。

<彫塑工芸部門審査会員 伊藤 典子>

写 真

新型コロナも発生から約5年が過ぎ、イベントやお祭りも各地で開催されるようになりました。撮影機会が増えたこともあり色々な写真が出品されました。また今回から高校生奨励賞が新設され5名の応募がありました。今後も高校生を含む若い人の応募が増えてほしいと思ひます。(出品者数は、一般部門109名、無鑑査19名、委嘱6名の合計134名 昨年より一般部門の出品者が10名減少しました。)

審査は約2時間かけて公開で行いました。一次審査(奨励賞以上の候補作品の決定)・二次審査(入賞者の決定)を経て、市長賞始め上位入賞7名・奨励賞11名・高校生奨励賞1名が決まりました。入賞されました皆さんおめでとうございます。

○市長賞「いぎ舞台へ」榊原司さんの作品は、垂井の曳山祭りでの一コマをうまく切り取っています。山車の舞台で子供歌舞伎が上演されますが、楽屋から舞台へ向かう3人の頑張るぞという気迫が感じられます。

○財団理事長賞「妙技」神戸敏文さんの作品は、ウインドサーフィンの大会でしょうか。シャッターチャンスが良

く、サーファーの高さと力強さが表現されています。波の飛沫が動感あふれる作品にしています。背景の黄色いヨットも効いています。

○教育委員会賞「夏夜の幻影」中村春喜さんの作品は、夜中に飛来するホタルを幻想的に作品にしています。緑の背景の中に黄色いホタルが浮かび上がっています。

○市議会議長賞「黎明」古田恵美子さんの作品は、日が昇り空はオレンジ色に焼け、その下には雲海が流れる。静かな風景の中に雲の動きを感じる作品です。

○観光コンベンション協会会長賞「洞門」下平邦弘さんの作品は、大きな岩の空間の向こうに見える山と人物を形よく撮影しています。影を生かした岩のゴツゴツした感じも良く出ています。

○観光コンベンション協会会長賞「出番準備」平田重模さんの作品は、出番前の様子をうまく撮っています。お面の男性の両脇にいる2組の子供の表情が対照的です。楽しそうな二人と不安そうな二人。作者の狙いが伝わってきます。

○観光コンベンション協会会長賞「秋を装う」藤田文夫さんの作品は、山が秋の訪れとともに紅葉で色づく場面を大自然の中からうまく切り取っています。初秋でしょうか。緑色の葉が、すがすがしさを出しています。

○委嘱特別賞は6名の中から、中西真二さんの作品「炎を操る」が選ばれました。この作品は、大道芸人の口から出す炎をシャッターチャンスよく捕えています。人物を画面下部に小さく入れ、炎を画面いっぱいに入れた構図が良く、力強い迫力のある作品になりました。

入賞作品以外にも惜しい作品が何枚もありました。作者の狙いははっきりさせ、何を表現したいのかを考えて撮影すれば、入賞に一步近づくと思ひます。

<写真部門審査会員 安藤 宏幸>

応募点数

| | | 日本画 | 洋画 | 書 | 彫塑工芸 | 写真 | 合計 |
|--------------------|----------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|------------|
| 応募搬入点数 | ①一般 | 24 | 101 | 155 | 31 | 109 | 420 |
| | ②無鑑査 | 7 | 14 | 52 | 9 | 19 | 101 |
| | 小計(①+②) | 31 | 115 | 207 | 40 | 128 | 521 |
| ③委嘱 | | 6 | 11 | 14 | 7 | 6 | 44 |
| ④審査会員参考作品 | | 7 | 8 | 25 | 5 | 4 | 49 |
| 合計(①+②+③+④) | | 44 | 134 | 246 | 52 | 138 | 614 |

審査結果内訳

| | | 日本画 | 洋画 | 書 | 彫塑工芸 | 写真 | 合計 |
|-----------------------|----------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|------------|
| 特別賞 (①一般、②無鑑査より選考) | 市長賞 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| | 財団理事長賞 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| | 教育委員会賞 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| | 市議会議長賞 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 6 |
| | 観光コンベンション協会会長賞 | 1 | 2 | 4 | 1 | 3 | 11 |
| | 合計 | 5 | 6 | 9 | 5 | 7 | 32 |
| 奨励賞(①一般より選考) | | 3 | 10 | 16 | 3 | 11 | 43 |
| 高校生奨励賞 | | 1 | 1 | 3 | 0 | 1 | 6 |
| 入選 | | 17 | 89 | 128 | 25 | 93 | 352 |
| 選外 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 委嘱特別賞(③委嘱より選考) | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| | | 日本画 | 洋画 | 書 | 彫塑工芸 | 写真 | 合計 |
| 展示数合計 | | 44 | 134 | 246 | 52 | 138 | 614 |

第73回 春日井市民美術展覧会入賞者名簿

令和6年8月発行

編集：公益財団法人かすがい市民文化財団

発行：春日井市

〒486-0844 春日井市鳥居松町5-44

公益財団法人かすがい市民文化財団 電話(0568)85-6868

審査員解説（ギャラリートーク）日程表

市民展審査会員が特別賞作品等の作品解説を行います。ぜひお立ち寄りください。

| 部 門 | 会 場 | 8/17(土) | 8/18(日) | 8/24(土) | 8/25(日) |
|-----|--------------------------|-----------------|------------------|------------------|-----------------|
| 日本画 | 文化フォーラム春日井 ギャラリー | ▶10:30 瀧下 尚久 | ▶15:00 安達 英志郎 | ▶11:30 加藤 洋一朗 | ▶11:30 鈴木 淳子 |
| 洋 画 | 市役所 11階 | ▶11:30 兼 忠志 | ▶11:30 小林 俊明 | ▶14:00 兼 忠志 | ▶12:30 小林 笑子 |
| 書 | 市役所 10階 ※展示は11階にもあります | ▶10:30 原田 凍谷 | ▶14:00 川本 赫汀 | ▶10:30 松本 盈真 | ▶13:30 後藤 抱琴 |
| 写 真 | 市役所 12階 | ▶11:30 伊藤 滋 | ▶10:30 丹羽 省吾 | ▶15:00 安藤 宏幸 | ▶10:30 奥村 克己 |

※「彫塑工芸部門」の審査員解説はございません。

※ 都合により会場・時間・解説者などは変更する場合があります。

春日井市民美術展覧会 資格について

「春日井市民美術展覧会規約 細則に関する事項」より

【審査会員】 次に掲げる者のうちから役員会で決め、春日井市長が委嘱する

- 1 市内在住、在勤又は春日井市に貢献のある美術作家で現に活躍し、相当の地位にある者
- 2 市民展に功績のある者

【委嘱者】 1 本展覧会において市長賞を2回、若しくは市長賞を1回と財団理事長賞・教育委員会賞・市議会議長賞・観光コンベンション協会会長賞・記念賞のいずれかを2回受賞した者

- 2 市民展審査会員会で推薦した者

【無鑑査者】 1 本展覧会において市長賞を1回、若しくは財団理事長賞・教育委員会賞・市議会議長賞・観光コンベンション協会会長賞・記念賞のいずれかを2回受賞した者

- 2 市民展審査会員会で推薦した者

【資格喪失】 2年連続して出品のない場合、その資格を失うことがある。